

第4期

運用報告書(全体版)

日系外債オープン (為替ヘッジなし)

【2021年4月15日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
皆様の「日系外債オープン(為替ヘッジなし)」は、
2021年4月15日に第4期決算を迎えましたので、期中
の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。
今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し
上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2019年4月1日から2029年4月13日までです。	
運用方針	日系外債マザーファンドⅡ(以下、「マザーファンド」といいます。)を通じて、日本の企業およびその子会社等または政府系機関・地方自治体等の発行する外貨建債券に投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	日系外債マザーファンドⅡ	取得時において投資適格の信用格付を取得している外貨建債券を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	日系外債マザーファンドⅡ	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年4月15日および10月15日(それぞれ休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPY (参考指数)		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	(分配落)	税分配	み騰落	騰落率	騰落率			
(設定日)	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
2019年4月1日	10,000	—	—	265.0376	—	—	—	10
1期(2019年10月15日)	10,138	110	2.5	269.1571	1.6	97.8	—	42
2期(2020年4月15日)	9,799	100	△2.4	270.5430	0.5	93.0	—	48
3期(2020年10月15日)	10,179	100	4.9	280.6368	3.7	96.7	—	58
4期(2021年4月15日)	10,489	60	3.6	290.5395	3.5	89.7	—	56

(注) 基準価額および分配金（税引前）は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

(注) FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYは当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYは当該日前営業日の指数値です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPY (参考指数)		債組入比率	債券先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首) 2020年10月15日	円	%	ポイント	%	%	%
	10,179	—	280.6368	—	96.7	—
10月末	10,087	△0.9	278.7448	△0.7	96.8	—
11月末	10,145	△0.3	280.3962	△0.1	96.6	—
12月末	10,187	0.1	281.4100	0.3	97.0	—
2021年1月末	10,265	0.8	282.5053	0.7	94.3	—
2月末	10,326	1.4	284.9015	1.5	95.3	—
3月末	10,656	4.7	291.7064	3.9	96.8	—
(期末) 2021年4月15日	10,549	3.6	290.5395	3.5	89.7	—

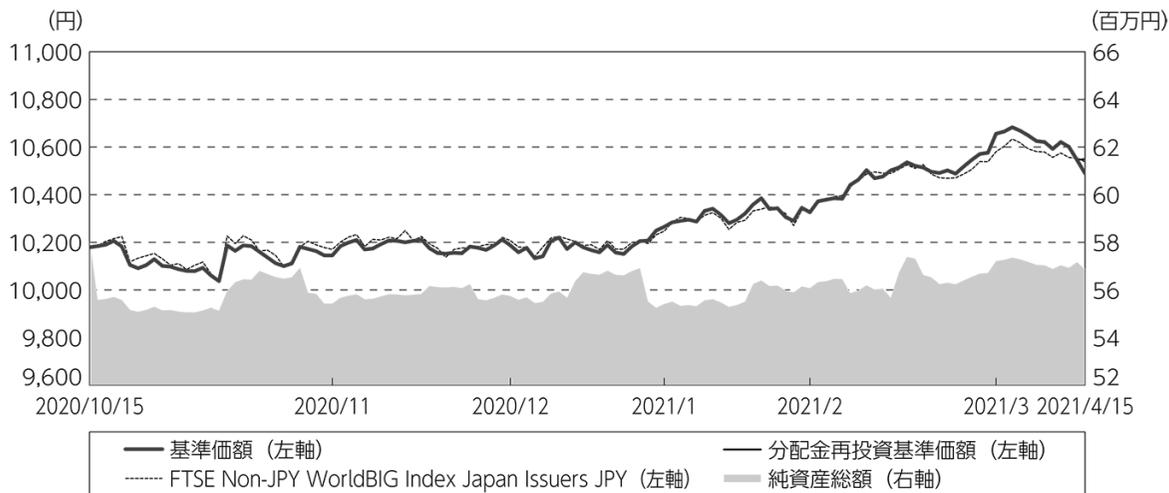
(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金（税引前）込み、騰落率は期首比。

FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2020年10月16日～2021年4月15日）



期首：10,179円

期末：10,489円（既払分配金（税引前）：60円）

騰落率： 3.6%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYです。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2020年10月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「日系外債マザーファンドⅡ」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・保有債券からの利息収入がプラスに寄与しました。
- ・投資対象とした主要通貨（米ドル、ユーロ、イギリスポンド）の対円での上昇がプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・保有債券の利回り上昇による債券価格の下落がマイナスに作用しました。

投資環境

（2020年10月16日～2021年4月15日）

欧米主要国の債券市場は、期を通じて利回りが上昇（債券価格が下落）しました。新型コロナウイルスのワクチン接種が進展し、今後の経済活動再開による景気回復を織り込む展開となりました。また、米国のバイデン政権による積極財政を受けて、インフレ期待が高まったことなども、長期ゾーンを中心とした利回りの上昇圧力となりました。

スプレッド（社債と国債の利回り格差）については、期を通じて縮小しました。主要国の堅調な株価動向等を背景に、投資家の利回り選好が強まる展開となりました。

為替市場については、期を通じて主要通貨が対円で上昇しました。欧米の長期金利上昇や堅調な株価動向等を背景に、主要通貨の対円での買いが優勢となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2020年10月16日～2021年4月15日）

「日系外債マザーファンドⅡ」の受益証券の組入比率を概ね高位に保ちました。

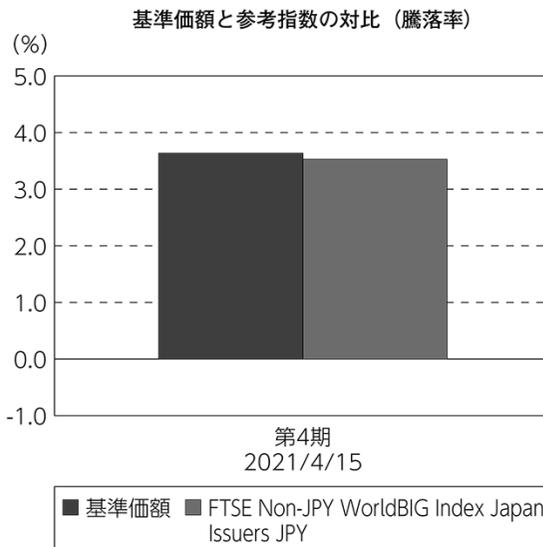
実質組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り為替ヘッジは行いませんでした。

「日系外債マザーファンドⅡ」においては、日本の企業およびその子会社等が発行する外貨建債券に投資を行い、同債券の組入比率は概ね高位を保ちました。銘柄の選定にあたっては、流動性、信用リスクに留意しつつ、利回り、業績、財務面等での魅力が高いと判断される債券に着目しました。また、当期においては、市場動向に応じてデュレーションを調整しつつ、ポートフォリオの利回り水準を高めに維持し、利息収入の確保に努めました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2020年10月16日～2021年4月15日）

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているFTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYの騰落率を0.1%上回りました。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

（注）参考指数は、FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYです。

分配金

（2020年10月16日～2021年4月15日）

当ファンドの分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当期につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり60円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第4期
	2020年10月16日～ 2021年4月15日
当期分配金	60
（対基準価額比率）	0.569%
当期の収益	60
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	488

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

欧米主要国の債券市場は、徐々に安定した動きとなることを予想します。各国の経済は2021年に急回復する見通しですが、財政政策や繰越需要（ペントアップ・ディマンド）等による押し上げ効果が剥落する2022年以降は、回復ペースを緩めると考えられます。このため、今後は市場が将来の成長鈍化を織り込む中で、利回りの上昇圧力が弱まると見込んでいます。また、各国・地域の中央銀行が長期的な見通しに基づいて政策運営を行い、金融緩和の縮小を慎重に進めると見られることも、利回りの上昇を抑制すると考えています。

スプレッドについては、概ね横這いとなることを予想します。当面は景気動向等を睨みつつ、金融市場のボラティリティ（変動率）の上昇が想定されるため、投資家の利回り選好が減退する場面があると思われれます。しかし、各国・地域の中央銀行が大規模な金融緩和を継続していることもあり、社債への投資資金の流入は続く見通しです。このため、スプレッドの拡大余地は限定的と考え、中長期的なクレジット市場の安定は維持されると見込んでいます。

為替市場については、全般に横這いの推移となることを予想します。世界的な景気回復を背景に本邦企業の海外直接投資が増加すると見られることなどが、主要通貨の対円での買い材料になると考えられます。一方、欧米の長期金利の上昇一服や株価の伸び悩みなどが、主要通貨の対円での売り材料になると考えられます。当面はこれらの材料を受けて主要通貨の売りが交錯し、対円で揉み合いの展開が続けると見込んでいます。

このような状況下、当ファンドの運用においては、主要な投資対象である「日系外債マザーファンドⅡ」の受益証券の組入れを高位に維持して運用する方針です。また、実質組入外貨建資産につきましては、原則として為替ヘッジを行いません。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2020年10月16日～2021年4月15日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	36	0.346	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(17)	(0.165)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(17)	(0.165)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.017	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
合 計	38	0.363	
期中の平均基準価額は、10,277円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

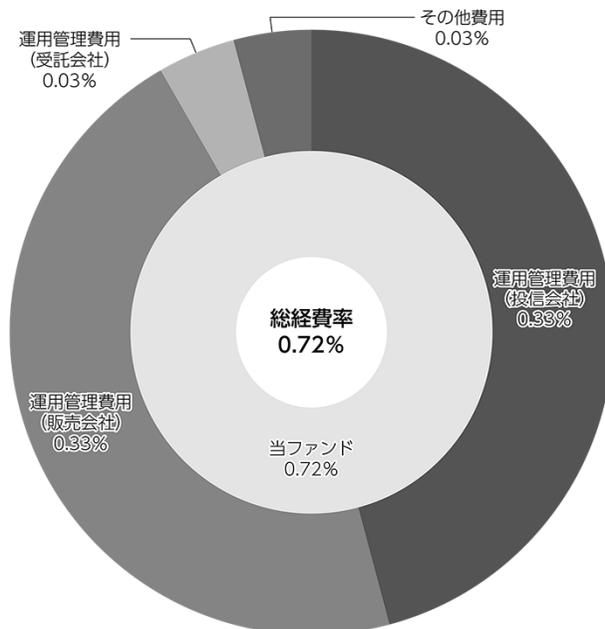
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.72%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2020年10月16日～2021年4月15日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
日系外債マザーファンドⅡ		千口 4,360	千円 4,930	千口 7,749	千円 8,730

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2020年10月16日～2021年4月15日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2021年4月15日現在）

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
日系外債マザーファンドⅡ		千口 51,749	千口 48,360	千円 56,243

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2021年4月15日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
日系外債マザーファンドⅡ	千円 56,243	% 98.0
コール・ローン等、その他	1,140	2.0
投資信託財産総額	57,383	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

（注）日系外債マザーファンドⅡにおいて、当期末における外貨建純資産（2,341,919千円）の投資信託財産総額（2,494,893千円）に対する比率は93.9%です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル＝108.91円、1ユーロ＝130.56円、1イギリスポンド＝150.21円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2021年4月15日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	57,383,518
コール・ローン等	1,140,329
日系外債マザーファンドⅡ（評価額）	56,243,189
(B) 負債	522,441
未払収益分配金	325,262
未払信託報酬	193,543
その他未払費用	3,636
(C) 純資産総額（A－B）	56,861,077
元本	54,210,341
次期繰越損益金	2,650,736
(D) 受益権総口数	54,210,341口
1万口当たり基準価額（C／D）	10,489円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,0489円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は57,134,348円、期中追加設定元本額は6,573,387円、期中一部解約元本額は9,497,394円です。

○損益の状況（2020年10月16日～2021年4月15日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 11
支払利息	△ 11
(B) 有価証券売買損益	2,110,782
売買益	2,188,652
売買損	△ 77,870
(C) 信託報酬等	△ 197,180
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	1,913,591
(E) 前期繰越損益金	△ 139,672
(F) 追加信託差損益金	1,202,079
（配当等相当額）	（ 570,516）
（売買損益相当額）	（ 631,563）
(G) 計（D＋E＋F）	2,975,998
(H) 収益分配金	△ 325,262
次期繰越損益金（G＋H）	2,650,736
追加信託差損益金	1,202,079
（配当等相当額）	（ 592,454）
（売買損益相当額）	（ 609,625）
分配準備積立金	1,530,327
繰越損益金	△ 81,670

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第4期
(a) 配当等収益(費用控除後)	1,143,822円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	1,120,409円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	711,767円
分配対象収益(a+b+c+d)	2,975,998円
分配対象収益(1万口当たり)	548円
分配金額	325,262円
分配金額(1万口当たり)	60円

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税引前）	60円
支払開始日	2021年4月21日（水）までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

<お知らせ>

該当事項はございません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2021年4月15日現在）

<日系外債マザーファンドⅡ>

下記は、日系外債マザーファンドⅡ全体(2,047,665千口)の内容です。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 15,900	千米ドル 17,097	千円 1,862,120	% 78.2	% —	% 59.7	% 18.5	% —
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
オランダ	1,000	1,113	145,408	6.1	—	6.1	—	—
日本	800	854	111,613	4.7	—	4.7	—	—
イギリス	千イギリスポンド 200	千イギリスポンド 261	39,279	1.6	—	1.6	—	—
合 計	—	—	2,158,422	90.6	—	72.2	18.5	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

日系外債オープン（為替ヘッジなし）

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千米ドル	千米ドル	千円	
	普通社債券 (含む投資法人債券)	ASAHI MUTUAL LIF 7.25	7.25	1,400	1,452	158,193	—
		CENT JAPAN RAIL 4.25	4.25	800	911	99,290	2045/11/24
		FUKOKU MUTUAL 6.5	6.5	1,400	1,546	168,378	—
		MARUBENI CORP 1.319	1.319	1,000	986	107,452	2025/9/18
		MEIJI YASUDA LIF 5.2	5.2	1,500	1,692	184,378	2045/10/20
		MITSUI SUMITOMO 7	7.0	1,600	1,679	182,871	2072/3/15
		MUFG BANK LTD 4.7	4.7	800	999	108,903	2044/3/10
		NIPPON LIFE INS	5.1	1,000	1,110	120,911	2044/10/16
		NTT FINANCE 1.162	1.162	1,000	988	107,646	2026/4/3
		RAKUTEN INC 3.546	3.546	1,000	1,061	115,644	2024/11/27
		SOMPO JAPAN INS 5.325	5.325	1,500	1,604	174,795	2073/3/28
		SUMITOMO LIFE 6.5	6.5	1,500	1,672	182,200	2073/9/20
		TAKEDA PHARM 3.175	3.175	400	386	42,146	2050/7/9
		TOYOTA MTR CORP 1.339	1.339	1,000	1,003	109,305	2026/3/25
小	計					1,862,120	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
オランダ	普通社債券 (含む投資法人債券)	JT INTL FIN SERV	2.875	1,000	1,113	145,408	2083/10/7
日本	普通社債券 (含む投資法人債券)	TAKEDA PHARM 2	2.0	800	854	111,613	2040/7/9
小	計					257,021	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	普通社債券 (含む投資法人債券)	EAST JAPAN RAIL 4.75	4.75	200	261	39,279	2031/12/8
小	計					39,279	
合	計					2,158,422	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 変動利付債の利率は、期末における利率です。

(注) 償還年月日が「—」表示の銘柄は永久債です。

日系外債マザーファンドⅡ

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じることがありますのでご了承ください。

日系外債マザーファンドⅡ 第3期 運用状況のご報告 決算日：2021年1月15日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦の企業およびその子会社等（海外子会社等を含みます。）または政府系機関・地方自治体等の発行する、主に米ドルを中心とした先進国通貨建ての債券に投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	取得時において投資適格の信用格付を取得している外貨建債券を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPY (参考指数)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
(設定日) 2018年1月31日	円 10,000	% —	ポイント 251.9706	% —	% —	% —	百万円 878
1期(2019年1月15日)	9,962	△ 0.4	253.2220	0.5	98.1	—	898
2期(2020年1月15日)	11,114	11.6	275.5717	8.8	95.8	—	2,247
3期(2021年1月15日)	11,199	0.8	280.8471	1.9	97.6	—	1,879

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

(注) FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYは当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYは当該日前営業日の指数値です。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPY (参考指数)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2020年 1月15日	円	%	ポイント	%	%	%
	11,114	—	275.5717	—	95.8	—
1 月末	11,148	0.3	274.7499	△0.3	96.2	—
2 月末	11,321	1.9	280.4077	1.8	96.6	—
3 月末	10,393	△6.5	267.9263	△2.8	88.1	—
4 月末	10,698	△3.7	270.3885	△1.9	96.9	—
5 月末	11,000	△1.0	276.6648	0.4	96.8	—
6 月末	11,213	0.9	281.7227	2.2	96.0	—
7 月末	11,135	0.2	279.9200	1.6	96.2	—
8 月末	11,197	0.7	280.6158	1.8	97.0	—
9 月末	11,216	0.9	281.6026	2.2	95.5	—
10 月末	11,081	△0.3	278.7448	1.2	97.4	—
11 月末	11,152	0.3	280.3962	1.8	97.2	—
12 月末	11,205	0.8	281.4100	2.1	97.7	—
(期 末) 2021年 1月15日	11,199	0.8	280.8471	1.9	97.6	—

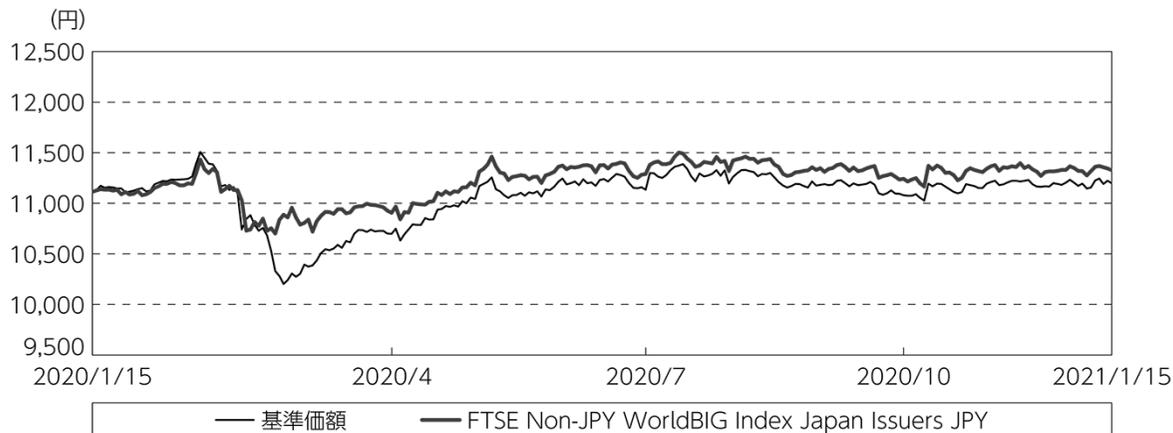
(注) 騰落率は期首比。

FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2020年1月16日～2021年1月15日)



(注) 参考指数は、FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYです。

(注) 参考指数は、期首(2020年1月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・保有債券からの利息収入がプラスに寄与しました。
- ・保有債券の利回り低下による債券価格の上昇がプラスに寄与しました。
- ・ユーロの対円での上昇がプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・米ドルの対円での下落がマイナスに作用しました。

投資環境

(2020年1月16日～2021年1月15日)

欧米の債券市場は、期を通じて利回りが低下（債券価格が上昇）しました。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、「質への逃避」の動きが強まり、2020年3月にかけて利回りが急低下しました。また、世界的な景気悪化を受けて、主要中央銀行が金融緩和に動いたことも、利回りの低下を促しました。その後、各国政府の財政支出等によって経済が持ち直し、「質への逃避」の動きは後退しましたが、金融緩和の長期化が見通される中では、利回りの上昇（債券価格の下落）は限定的となりました。

スプレッド（社債と国債の利回り格差）については、期を通じては概ね横這いとなりました。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて金融市場の流動性が急速に低下し、信用リスクを回避する動きが強まったことから、2020年3月にスプレッドが急拡大しました。しかし、その後は主要中央銀行が金融緩和に加え、社債の購入等による企業の資金繰り支援策を打ち出したことなどから、投資家の利回り選好が回復し、スプレッドは期末にかけて縮小傾向を続けました。

為替市場については、米ドルが対円で下落しました。米連邦準備制度理事会（FRB）が大幅利下げや無制限の保有資産規模拡大など、大規模な金融緩和に動いたことなどから、米ドルの売り圧力が強まる展開となりました。一方、ユーロは、米国金利の大幅低下による欧米間の金利差縮小等を背景に、対米ドルでの買いが続いた影響から、対円でも値を上げる動きとなりました。また、コロナ禍からの経済再生を図る復興基金の設立に向けた動きなど、欧州連合（EU）内で各国の協調が見られたことも、ユーロの対円での上昇を促しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2020年1月16日～2021年1月15日)

債券組入比率は概ね高位を維持し、利息収入の確保に努めました。ポートフォリオのデュレーションは、市場動向に応じて調整し、当期末時点では5.0年程度としました。投資する銘柄の選択にあたっては、流動性、信用リスクに留意しつつ、利回り、業績、財務面等の魅力が高いと判断される債券に着目しました。

組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り為替ヘッジは行いませんでした。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2020年1月16日～2021年1月15日)

当期間における当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数であるFTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYの騰落率を1.1%下回る結果となりました。

今後の運用方針

欧米の債券市場については、引き続き利回りが低位で推移する展開を予想しています。世界経済がコロナ禍を経験して構造変化を起こす中、各国・地域の中央銀行は景気の先行きを慎重に判断すると考えられるため、金融緩和が長期化し、利回りの上昇は抑制されると見込んでいます。

スプレッドについては、全般に安定した動きとなることを予想しています。低金利環境が一段と長期化する見通しの中で、投資家の利回り選好が続くと見込んでいます。また、今後も各国当局の政策対応が企業の信用力を下支えすると考えられることも、スプレッドの安定を促すと見えています。

為替市場は、米ドルなどの主要通貨が対円で横這い推移となることを予想しています。日本や欧米主要国の金利水準に大きな変化が想定されないことなどから、揉み合いの展開が続くと見込んでいます。ただ、足元で堅調な株式市場に調整色が広がる場面では、主要通貨が対円で下振れすることもあると見えています。

このような状況下、当ファンドの運用においては、債券組入比率を高位に維持し、利息収入を主な収益源として、安定したパフォーマンスの実現を目指す方針です。また、ポートフォリオのデュレーションは、市場動向に応じて調整する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2020年1月16日～2021年1月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
合 計	2	0.017	
期中の平均基準価額は、11,063円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年1月16日～2021年1月15日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	特殊債券	千米ドル 789	千米ドル 794
		社債券（投資法人債券を含む）	10,818	15,157
	ユーロ	社債券（投資法人債券を含む）	千ユーロ 1,085	千ユーロ —
		社債券（投資法人債券を含む）	986	1,076
イギリス	特殊債券	千イギリスポンド 100	千イギリスポンド 101	
	社債券（投資法人債券を含む）	139	—	

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) 社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2020年1月16日～2021年1月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年1月15日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	12,500	13,905	1,443,930	76.8	—	76.8	—	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
オランダ	1,000	1,115	140,735	7.5	—	7.5	—	—
日本	1,500	1,656	209,123	11.1	—	4.2	—	7.0
イギリス	千イギリスポンド	千イギリスポンド						
	200	277	39,517	2.1	—	2.1	—	—
合 計	—	—	1,833,306	97.6	—	90.6	—	7.0

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

日系外債マザーファンドⅡ

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千米ドル	千米ドル	千円	
	普通社債券 (含む投資法人債券)	ASAHI MUTUAL LIF 7.25	7.25	1,400	1,463	151,917	—
		CENT JAPAN RAIL 4.25	4.25	800	931	96,768	2045/11/24
		FUKOKU MUTUAL 6.5	6.5	1,400	1,568	162,822	—
		MEIJI YASUDA LIF 5.2	5.2	1,500	1,718	178,413	2045/10/20
		MITSUI SUMITOMO 7	7.0	1,600	1,700	176,528	2072/3/15
		MUFG BANK LTD 4.7	4.7	800	1,048	108,855	2044/3/10
		PANASONIC CORP 3.113	3.113	1,000	1,092	113,396	2029/7/19
		SOMPO JAPAN INS 5.325	5.325	1,500	1,620	168,311	2073/3/28
		SUMITOMO LIFE 6.5	6.5	1,500	1,684	174,874	2073/9/20
		SUMITOMO MITSUI 3.202	3.202	1,000	1,078	112,042	2029/9/17
小	計					1,443,930	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
オランダ	普通社債券 (含む投資法人債券)	JT INTL FIN SERV	2.875	1,000	1,115	140,735	2083/10/7
日本	普通社債券 (含む投資法人債券)	SOFTBANK GRP COR 4	4.0	1,000	1,036	130,827	2022/7/30
		TAKEDA PHARMACEU 3	3.0	500	620	78,296	2030/11/21
小	計					349,858	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	普通社債券 (含む投資法人債券)	EAST JAPAN RAIL 4.75	4.75	200	277	39,517	2031/12/8
小	計					39,517	
合	計					1,833,306	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 変動利付債の利率は、期末における利率です。

(注) 償還年月日が「—」表示の銘柄は永久債です。

○投資信託財産の構成

(2021年1月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	1,833,306	97.5
コール・ローン等、その他	46,209	2.5
投資信託財産総額	1,879,515	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(1,861,254千円)の投資信託財産総額(1,879,515千円)に対する比率は99.0%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=103.84円、1ユーロ=126.22円、1イギリスポンド=142.16円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年1月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,879,515,074
コール・ローン等	19,173,087
公社債(評価額)	1,833,306,477
未収利息	26,807,612
前払費用	227,898
(B) 負債	500,076
未払解約金	500,000
未払利息	7
その他未払費用	69
(C) 純資産総額(A－B)	1,879,014,998
元本	1,677,867,359
次期繰越損益金	201,147,639
(D) 受益権総口数	1,677,867,359口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,199円

- (注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.1199円です。
- (注) 当ファンドの期首元本額は2,022,120,832円、期中追加設定元本額は1,492,680,072円、期中一部解約元本額は1,836,933,545円です。
- (注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。
- | | |
|----------------------------------|--------------|
| リスク抑制型・4資産バランスファンド(愛称 いたがた創業応援団) | 811,564,198円 |
| くまもと未来応援ファンド(愛称 復興投信) | 542,827,175円 |
| 日系外債オープン(為替ヘッジあり) | 273,611,936円 |
| 日系外債オープン(為替ヘッジなし) | 49,864,050円 |

○損益の状況 (2020年1月16日～2021年1月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	114,515,869
受取利息	114,543,867
支払利息	△ 27,998
(B) 有価証券売買損益	△ 29,097,001
売買益	107,314,471
売買損	△136,411,472
(C) その他費用等	△ 445,593
(D) 当期損益金(A+B+C)	84,973,275
(E) 前期繰越損益金	225,290,891
(F) 追加信託差損益金	98,369,928
(G) 解約差損益金	△207,486,455
(H) 計(D+E+F+G)	201,147,639
次期繰越損益金(H)	201,147,639

- (注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はございません。